

NSG

GROUP

第153期定時株主総会

日本板硝子株式会社

お願い事項



携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてくださいご使用はお控え下さいますようお願い申し上げます。その他、カメラやビデオ、各種機器などによる撮影、録画、録音等につきましても、会場内での使用をお断りしておりますので、何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

第153期定時株主総会

日本板硝子株式会社

監査報告

報告事項

1. 事業報告
2. 連結計算書類
3. 計算書類

NSGグループの 対処すべき課題

2020年3月期の見通し

- **売上は微増**
 - **建築用ガラス事業・自動車用ガラス事業**
：厳しさ増すものの、VA製品増加
 - **高機能ガラス事業**
：各事業とも市場は安定的に推移、VA製品売上比率も拡大
- **営業利益、当期利益は前期を若干下回る見込み**
 - **世界的な景気の減速**
 - **原燃材料等の投入コスト増**
 - **高付加価値化推進に伴う生産コスト上昇**

MTPフェーズ2 最終年度

- インプットコストの増加
- 新製品上市の遅れ
- 一部市場でのVA化の遅れ
- 将来の成長のための投資前倒し

ROS 8%以上、ネット借入/EBITDA比率3倍に届かない見込み

引き続き“**Shift to VA + Growth**”の方針の下、

- 事業の収益性の更なる向上を図る
- 運転資本や設備投資に関する厳格な管理を継続
- ノンコア資産・事業の売却を通じ、ネット借入残高削減

NSGグループの対処すべき課題

- 不確実、不安定な経済状況のなかでも市場の変動に柔軟に対応して安定的な利益を出せる事業構造への変革
- 持続的に成長する強い収益基盤の構築



- 4つの成長施策を着実に実行
- コモディティ・マスボリューム型⇒ハイバリュー型のビジネスモデルへの変革
- 持続的な成長に向けた「Growth戦略—成長戦略」を推進

建築分野

- エネルギーの育成と消費の収支がプラスマイナスゼロになる「ゼロ・エネルギー・ビルディング（ZEB）」
⇒ 省エネガラスや太陽電池パネル用ガラス基板を拡大
- IoTやAIを使った「スマート・ウィンドウ」

自動車分野

- CASE: Connected（コネクティッド）、Autonomous（自動運転）、Shared（カーシェアリング）、Electric（電気自動車）で先進的なVAガラスを拡大

高機能 ガラス分野

- ライフサイエンス
- IoT・Cloud
- エネルギー変換
- Industry 4.0
- ⇒ 事業領域を拡大



当社グループは、社会の一員として持続的成長可能な社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進

- 環境(E) : VA製品を通じ、省エネ、創エネに貢献
CO₂排出量の削減・廃棄物の削減等
- 社会(S) : インクルージョン&ダイバーシティの推進
グループ倫理規範の徹底
サプライヤー行動規範の遵守確保のプログラム
- ガバナンス(G) : 透明性、客観性の確保された実効性のあるガバナンスを不断に追求

CSR国際評価機関EcoVadisから最高
ランク「ゴールド」の評価を獲得



招集ご通知17ページから48ページ

- **その他の「当社グループの現況に関する事項」**
- **「会社の株式に関する事項」**
- **「剰余金の配当等の決定に関する方針」**
- **「会社の新株予約権等に関する事項」**
- **「会社役員に関する事項」**
- **「会計監査人の状況」**
- **「コーポレートガバナンスの状況」**

第153期定時株主総会

日本板硝子株式会社

決議事項

議案 取締役9名選任の件

招集ご通知 5ページから 14ページ

議案 取締役9名選任の件

ギュンター・ツォーン

(Günter Zorn)

(社外取締役候補者)

森 重樹

クレメンス・ミラー

(Clemens Miller)

諸岡 賢一

山崎 敏邦

(社外取締役候補者)

木本 泰行

(社外取締役候補者)

松崎 正年

(社外取締役候補者)

竹井 友二

(社外取締役候補者)

ヨーク・ラウパッハ・スミヤ

(Jörg Raupach Sumiya)

(社外取締役候補者)

ご質問の際は、

- ・お手許の受付票の番号
- ・お名前

をおっしゃってから、
ご質問くださいますようお願いいたします。

第153期定時株主総会

日本板硝子株式会社

NSG

GROUP